

遠い所の話

福井市灯明寺中学校

二年一組

千田直輝

せんた なおき

「土砂災害」最近ニュースでよく耳にする言葉です。

「〇〇県で土砂崩れが起きました」。

「〇〇県でかけ崩れが起きました」。

というように、土砂災害がひんぱんに起きて

いることを実感します。また、それと同時に

たくさんの人々が七くなっている、土砂災害

の恐ろしさも知りました。その恐ろしさを知

つてしまったからなのか、僕はそんなニュース

スを見るたびに、自分の住んでいるところでは

は起きないだろうと思っ、てしまいます。土砂

災害が起きたのは〇〇県、自分が住んでいる

のは福井県だから大丈夫だとも思ったりして

いました。つまり、土砂災害は、どこか遠い

所の話だと。

二〇〇四年七月十八日、福井豪雨という災

害が起きました。僕が生まれる約一カ月前の

出来事です。被害は、死者が四人、二百棟を

超える住宅が、全壊、または半壊したそうです。数時間下一ヶ月分の雨が降り、提防は決壊、また、土石流が発生し、濁流が街を呑み込みました。

そんな恐ろしい災害が僕の住んでいる福井県下起きていますので。最近起こった土砂災害をニュースで見ても、福井下このような災害が起きています。土砂災害は信じられないようなことが起きています。しかもそれがいつ起きるのか分からないのです。これは、地震など、すべりの災害に言えることだと思います。雨がやんで安心していたら、土砂崩れが起こり、土砂に巻き込まれるという可能性もあります。僕は今まで、土砂災害は遠い所の話とのんきな考えをしていましたが、いつ起きるか分からない。土砂災害について考えようと思いましたが、まず、土砂災害による被害を防止するためには、避難すること、が重要だと思います。

大量の雨が降るなどして土砂災害の発生  
の危険があるときには避難勧告や避難指  
示が出ます。指示などが出たら、避難所  
へ避難します。しかし、これは日頃の備  
えがないうとできないと思います。例  
えば、家族と避難所について話しあ  
っておくことです。自分の家から一番  
近い避難所を知っておかないと、避難  
する時間を失ってしまふことになり  
ます。また、それと同時に、避難所へ  
向かうルートも考える必要があると思  
います。例えば、川の水が雨で増水し  
ているときに橋を渡るのは危険です。  
そのようにルートを決めるのも、命に  
関わる重要なことだと思います。

避難をするときには高齢者の方や体  
の不自由な人を助けることも大切だ  
と思います。避難の時間がかかる人  
には早めに避難のお手伝いをしよ  
うと思います。学校で学んだ、自  
助、自分で自分を助ける、互助、家  
族や地域で共に助けあうを災害が起  
きたときには、できるようにしたい  
です。

次に、土砂災害そのものを防止することも大事だと思えます。土砂災害は起伏に富んだ土地で起きやすく、日本は国土の七割が山地・丘陵地です。つまり、日本は土砂災害が起きやすい国だということです。

そんな日本で、土砂災害を起こさないようにするには、僕は「木」が関わっていると思います。木は太い根を張るので、土地が強くなり、雨が降っても土地がゆるまなくなると思います。しかし、木をたくさん植えることが良いのではないのではなく、光が入るバランスの良い森林が良いそうです。日本では、木が密集して日が入らない森林も多く、現在木の利用を促進する運動も行われているそうです。そういう「た運動が、土砂災害の予防にも役立っている」ということです。また、最近の開発によつて、山を削ったりする環境破壊も土砂災害を引き起こす一つの原因になっています。土砂災害は、山を削るなどの環境破壊は、土砂災害以外の問題にも関わると思えます。土砂災害

害が起きやすい国としておやみに環境破壊を  
しないことは重要だと思えます。

この作文を書くにあたって、今まで気にし  
ていなかった土砂災害について知ることが下  
きました。僕は、土砂災害による被害の予防  
と、土砂災害そのものの予防について考えま  
した。その中でも、家の近くの避難所を知る  
ことは大切だと思えます。僕も、近くの避難  
所を探して、そこへのルートで危険な場所も  
確認しようと思えます。また、それを元に、

ハガードマップなども作れるといいです。こ  
の作文が自分にとっても、土砂災害について  
考える、良い機会になりました。土砂災害は  
遠い所での話ではないと覚えておきます。